

聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと

常総市議会映像配信中!! <http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。

議員

新型コロナウイルスの感染拡大で病院や療養施設に入れない感染者が増加をした場合、自宅療養者を抱える家族の生活は困難を極める。入所が困難な方の自宅療養時の買物、ごみ出し支援についての当市の考えは。

保健福祉部長

県の事業として配送による食事等のサービスがある。療養期間の10日間に2回までレトルト食品等を配送する。ごみに関しては、原則療養期間中は搬出を行わず療養期間終了後にごみを二重にするなど感染予防の徹底を行い捨てていただく。個人情報観点から療養者の情報が県からきていないため市の支援には至っていない。

議員

今後、コロナウイルス感染症が蔓延し保健所での対応がし切れない場合においては市への援助を求め連絡がないとは言いきれない。万が一の場合を想定し当市の体制を構築しておくべきではないか。

保健福祉部長

自宅療養者の支援を県より市に



佐藤 剛史 議員

質問
コロナ禍における
当市の対応策について
答弁
県との連携や課題を踏まえた
支援策の検討を行う

佐藤議員の
質問動画



対し求められた場合、個人情報漏えいに注意し、県との連携を図りながら支援を行っていききたい。

議員

子どもが濃厚接触者になった場合の授業の支援策として、双方向型のオンライン学習支援やWebでの授業の映像配信により自宅にいながら教室で授業を受けていることと同様の学びが得られる。オンライン学習についての考えは。

指導課長

今後のオンラインによる学習支援については、1人1人の学びを保障するために大変効果的な手段であると考える。通信環境が整っていない家庭の対応方法や端末の持ち帰りの検討やルールづくり、また著作権や人権の配慮など様々な課題を踏まえ検討していきたい。

議員

コロナ対策に伴う市内生産者の支援についての当市の考えは。

学校給食センター所長

地元生産者の支援として、学校給食センターの食品物資納入資格指名願の中途受付も含め公平性を確保しながら支援策を模索したい。